

心をつなぐJA広報

JA高千穂地区

# かゝるめこ

2020  
NO.311  
3  
March





# 第170回畜産共進会

## 高千穂町岩戸 佐藤 光夫さん 『はるな』号

第170回JA高千穂地区畜産共進会が、1月10日に畜産部家畜市場で開かれました。各地区の予選を勝ち抜いた48頭の中から、高千穂町岩戸の佐藤光夫さんの「はるな」号が見事栄冠を手にしました。「はるな」号は、発育良好で輪郭が鮮明。均称も取れており、雌牛らしい品位に富むと評価されました。団体優勝は岩戸地区でした。



順	号名	父	母の父	母の祖父	地区	生産者名	日令	体重(kg)	価格	購買地区
1	はるな	美徳国	上茂福	糸 秀	岩 戸	佐藤 光夫	261	253	776,600	本 人
2	ももこ	耕富士	美徳国	忠富士	高千穂	馬原 一彦	297	326	880,000	評 価
3	ふくひめ	耕富士	勝平正	福 桜	日之影	河野 隆年	306	349	1,657,700	評 価
4	とちふじ	耕富士	美徳国	福 桜	上 野	佐藤 悟	288	305	825,000	評 価
5	ふくふじ	耕富士	美徳国	忠富士	田 原	富高 健一郎	288	337	1,449,800	評 価
6	よしみ	義美福	忠富士	福之國	上 野	戸高 清次	287	314	825,000	評 価
7	ゆめさかえ	耕富士	美徳国	平忠勝	日之影	矢通 広信	314	341	825,000	評 価
8	としはる	美徳国	忠富士	安 平	岩 戸	山道 誠二	261	275	825,000	評 価
9	さくら	耕富士	美徳国	福 桜	岩 戸	佐藤 元生	297	285	1,106,600	評 価
10	はるさくら	耕富士	美徳国	忠富士	岩 戸	佐藤 龍一郎	284	312	825,000	評 価
11	こころ2の2	耕富士	美徳国	勝平正	日之影	馬崎 守	263	296	1,108,800	日之影
12	ほまれ3	秀正実	美徳国	忠富士	五ヶ瀬	西川 濟郎	265	304	969,100	上 野
13	りつ89の3	耕富士	秀正実	上茂福	田 原	林 秋廣	281	278	825,000	評 価

◎父別頭数 耕富士-28頭 秀正実-5頭 真華盛-3頭 美徳国-3頭 満天白清-2頭  
 梅福久-2頭 愛日向-2頭 秀百合久-1頭 義美福-1頭 第5安栄-1頭



## 子牛セリ市結果 (1月20日・21日)

### 2日間総合支所別成績表 (税込価格)

地区	性	頭数	最高価格	生産者名	平均価格
高千穂	雌	29	1,051,600	藤原 和昭	730,021
	去勢	43	966,900	佐藤 孝子	821,163
	計	72	1,051,600		784,453
岩 戸	雌	42	1,106,600	甲斐 和広	747,162
	去勢	50	1,002,100	田 部 等	811,382
	計	92	1,106,600		782,064
田 原	雌	39	1,449,800	富高 健一郎	794,821
	去勢	70	1,014,200	松野 孝則	829,290
	計	109	1,449,800		816,957
上 野	雌	53	1,135,200	藤本 昭人	754,123
	去勢	76	964,700	田辺 貴紀	829,603
	計	129	1,135,200		798,591
日之影	雌	43	1,657,700	河野 隆年	782,740
	去勢	41	982,300	三浦 博文	814,939
	計	84	1,657,700		798,456
五ヶ瀬	雌	30	1,223,200	甲斐 大樹	743,600
	去勢	33	963,600	西川 濟郎	808,333
	計	63	1,223,200		777,508
合 計	雌	236	1,657,700	河野 隆年	760,524
	去勢	313	1,014,200	松野 孝則	821,299
	計	549	1,657,700		795,174

1月セリ市は、上場頭数549頭で雌760,524円(税込)平均日令296日、平均体重287kg 去勢821,299円(税込)平均日令262日平均体重287kgで前回(11月市)との比較は全体で15,490円安ではありましたが、現在の枝肉相場を考慮しますと、高い評価に値するセリ市であったと言えます。特に雌子牛平均については前回(11月市)同様、県内でトップの平均単価であり全国からみても高値の取引結果となりました。繁殖母牛頭数については、1月セリ終了現在で4,599頭でセリ市前と比較しますと+34頭となり若干増頭となりました。現在の枝肉相場からすると子牛価格は高い状況であり今後の見通しについての不透明感はありますが、継続的、安定取引ができるように取組みます。引き続き近隣諸国では口蹄疫等の発生が確認されています。関係者以外の立ち入り制限、農場、畜舎の出入り口の踏込み消毒槽の設置、車両消毒など防疫対策の徹底をお願いします。





表紙の紹介

# 第35回 神話の高千穂建国まつり



建国記念日の2月11日に建国まつりパレードが行われました。約700人が古代衣装やユニークな被り物などを身にまとい、高千穂神社から穂觸神社までの道のりを行進しました。パレードには当JA関連団体も参加。牛のオブジェをトラクターで牽引したり、JAバンクのよりぞうも登場。沿道の観客には振舞いもあり大変喜ばれました。

また、9日に開催された神様コンテストでは農産指導課の飯干舜太職員と金融課の甲斐春菜職員が出場しコンテストを盛り上げました。

## 高千穂地区花き園芸組合 展示品評会

受賞者一覧 (敬称略)



高千穂地区花き園芸組合は2月13日、冬期花き展示品評会をゆめプラザTACで開催しました。ランンキュラスやスイートピーなど合計52点が出品され、厳正な審査が行われました。審査の結果、最優秀賞の高千穂地区花き園芸振興会長賞に、田原の後藤慶生さんが出品したランンキュラスが選ばれました。

品評会は組合員の栽培技術や生産意欲の向上、町民へのPRを目的に行われています。

〈高千穂地区花き園芸振興会長賞〉

後藤慶生 ランンキュラス

〈高千穂町長賞〉

後藤廣範 ランンキュラス

〈日之影町長賞〉

松本宮夫 ダリア

〈五ヶ瀬町長賞〉

松本陽介 ランンキュラス

〈高千穂地区農業協同組合長賞〉

佐藤則行 スイートピー

〈宮崎県農業共済組合長賞〉

今村浩三 ランンキュラス(大輪)

〈高千穂町議会議長賞〉

佐藤誠一 スイートピー

〈高千穂の花の日推進会議会長賞〉

佐藤朝生 ランンキュラス

〈高千穂町花き園芸組合長賞〉

興梠常行 スイートピー

〈日之影町花き園芸組合長賞〉

河野貴幸 ランンキュラス







双子座 5/21~6/21

【全体運】予定通りに進まずイライラすることが、でも、下旬には解消。連絡の悪さは小まめな確認でカバーしよう  
【健康運】以前やっていた健康法を復活させると◎ 【幸運の食べ物】春キャベツ

## J A 青年部



## 高千穂小学校収穫祭

高千穂小学校5年生の生徒が、青年部や生産者の協力の下、田植えから収穫まで行ったモチ米の収穫祭が1月17日に開催されました。当日は生徒や保護者、青年部、生産者が参加しモチの実食が行われました。また、生徒からの感謝状の贈呈もあり有意義な収穫祭となりました。

## ウッドフラワー教室

J A女性部は1月28日にゆめゆめプラザTACで、ウッドフラワー教室を開催しました。当日は西臼杵支庁林務課の小川考洋氏を講師に招き、カンナくずを使用したカーネーションを作成しました。また、木に関する教育の講話も行われました。



## J A 女性部

## 豆腐・おからドーナツ作り体験

高千穂小学校5年生の生徒が2月5日に、J A女性部や地域おこし協力隊の指導の下、豆腐作り体験を行いました。原料となる大豆は生徒が植え付けから収穫まで行った物を使用しました。豆腐を作る際にできるおからを使用したドーナツは「おいしい！」と大変好評でした。



## えびの市へ視察研修

J A女性部高千穂支部は、2月2日にえびの市で視察研修を行いました。当日は同市京町の二日市や道の駅、森岡城を見学しました。様々な農産物や特産品を知る事ができ有意義な視察となりました。また、当日は下川登活性化プロジェクトのメンバーも同地視察でした。



蟹座 6/22~7/22

【全体運】ハプニング運ですがラッキー要素もいっぱい。予想外のことを楽しむ気持ちが開運につながります。臨機応変に  
【健康運】何でもやり過ぎず規則正しく心掛けて 【幸運の食べ物】カラシナ





獅子座 7/23～8/22

【全体運】春がそこまで来ています。暖かくなってからすることの準備を先取りすると、幸運の呼び水に。新プランにツキ  
【健康運】リラックスを心掛けて。温かい飲み物を 【幸運の食べ物】レモン

職員の異動 令和2年2月1日付

氏名	旧 役 職		新 役 職	
	部・支所・課	役職名	部・支所・課	役職名
佐藤 高也	金融共済部共済普及課	課長	企画管理部管理課	企画管理部付課長
佐藤 隆彦	金融共済部共済普及課	課長補佐	金融共済部共済普及課	課長
戸高 秀和	監事監査室	補佐（審査役）	金融共済部共済普及課	課長補佐（審査役）
丸本 隆生	金融共済部共済普及課	普及推進係長	企画管理部管理課	管理係長
田上 貴人	企画管理部管理課	管理係長	監事監査室	監査係長
佐藤 尊文	金融共済部金融課	総合推進係長	畜産部市場課	市場係長
佐藤 樹	金融共済部共済普及課	普及推進係長	購買部事務課	購買事務兼未収金係長
興 梶 真一	五ヶ瀬支所	農産係長	金融共済部共済普及課	普及推進係長
工藤 亮太	畜産部市場課	市場係	金融共済部共済普及課	普及推進係長
一水 大輝	金融共済部共済普及課	普及推進係	五ヶ瀬支所	農産係
一水 隆樹	購買部事務課	購買事務兼未収金係	金融共済部共済普及課	普及推進係
佐藤 記隆	企画管理部管理課付	J A教育センター一出向	購買部組織支援課	組織支援係

【依願退職】 鈴木 寿子 金融共済部 共済普及課 係長 （令和2年1月31日付） お世話になりました。

## きんかん食べないと！

高千穂地区きんかん部会は、2月2日にゆめゆめプラザTACで『第4回きんかん食べないと！』を開催しました。当日は約100人が来場し、きんかんを使った料理やデザートが提供されました。また、ステージイベントではきんかんのつかみ取りや、宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」のひいくんが登場し会場を盛り上げました。多数のご来場ありがとうございました。



## 米の作付面積増加と出荷のお願い

令和元年産米については1月で集荷も終了し、現在順調に販売が行われています。この中で販売先からは「西臼杵産の米はおいしい！」「数量をもっと増やしてほしい！」との声が多く寄せられています。この様な状況の一方で、西臼杵産の米が需要に足りていない現状にあります。そのため、組合員の皆様におかれましては令和2年産において米の作付面積の増加と出荷のご協力についてお願い申し上げます。

※品種については「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」を推奨。  
※種子については、生産資材で注文することができます。

令和元年産米の価格(参考)

区分	品種	等級	価格(税込)	区分	品種	等級	価格(税込)
掛干	コシヒカリ	1等	7,938	コンバイン	コシヒカリ	1等	7,830
		2等	7,506			2等	7,398
		3等	6,912			3等	6,804
	ヒノヒカリ	1等	7,830		ヒノヒカリ	1等	7,722
		2等	7,398			2等	7,290
		3等	6,804			3等	6,696

【お問い合わせ】

J A 高千穂地区  
農産部

0982-73-1305



乙女座 8/23～9/22

【全体運】行動的なほどツキに恵まれます。歓送迎会の計画を立てるなど、人と会う行事を大切に。うれしいハプニングも  
【健康運】筋力アップの好機。ハードな運動も◎ 【幸運の食べ物】ツクシ



# 『「県域JA」構想 組合員代表者との意見交換会』のご報告

## 1. 組合員代表者との意見交換会の開催の趣旨

「県域JA」構想は、中長期的な視点で、JAの使命・役割である「農業所得の向上」と「地域の活性化」に向けて、JAグループ宮崎の総合力を最大限に発揮するため、平成30年11月に検討に着手することとされ、現在、協議を進めております。

令和元年10月30・31日の「組合員代表者との意見交換会」は、「県域JA構想案」検討の途中において、組合員代表の皆様方のご意見を伺い、今後の検討に反映させていくために開催いたしました。

今回のご報告は、アンケート結果と席上いただきましたご意見等及び県域JA構想案（中間とりまとめ）の主な内容を中心にまとめたものです。

## 2. 中間取りまとめ案に関するアンケート結果

参加者：13JAの総代・部会・組織代表等 約240人 回答者：166人 回答率：約69%  
 ≪中間取りまとめ案の検討内容への評価≫

十分である	おおむね十分	やや不十分	不十分である	わからない
10%	39%	22%	18%	
49%		40%		11%

## 3. 意見交換会質疑応答（抜粋）

### 検討期間・合併時期について

**Q：県域JA構想は十分に時間を掛けて議論すべきだ。急ぎすぎではないか？**

A：時期が早いか遅いかはそれぞれ意見があります。スケールメリットが発揮できるステージⅢに移行するまでに9～10年掛かることになり、それでは遅いという意見もあります。各JAの合併総代会で決議いただきますが、その前にはできるだけ具体的なメリットをお示しします。

**Q：合併しなくても、現在の体制で出来るのではないか？**

A：各JA・連合会で重複している機能を削除し、必要な機能は残すことで効率化を図ります。

**Q：設立推進協議会への参加の承認について、スケジュールを変更することはあるのか？**

A：設立推進協議会というのは、合併を「する」「しない」という判断ではなくて、検討状況を網羅したものを更に突き詰めていく協議会です。その協議会の設立に向けての承認であり、最終的意思判断は3～4年後になりますので、ご理解下さい。

### 要望等

- 合意形成までの期間が急ぎすぎである。
- 合併時期については危機感で違いが生じている。
- 他県に先んじて早く合併して、早くメリットを発揮してもらいたい。
- 大型化しないと全ての経済界の中で生き残ることはできない。10年先では、合併がさらに15年、20年掛かる。悠長なことは言っていない。
- まずは設立推進協議会を設立して細部を詰めていかないと、組合員にメリットやデメリットを説明できないので、このスケジュールで良い。

### 合併について

**Q：連合会も合併するのか？**

A：法律上、まず13JAが合併し、そのあとに連合会を包括承継する形で合併します。

**Q：合併したいJAだけで合併すれば良いのではないか？**

A：宮崎県の13JAは黒字であり、ここ数年は大丈夫だと考えています。ただ、10年、20年経った時にどうなるのかをシミュレーションしながら、未合併ではできない、県域JAで何ができるかを踏まえたものを提示して判断することが大事だと考えております。

**Q：合併して赤字になった場合、信用事業譲渡になるのではないか。**

A：赤字は信用事業譲渡の一つの要素にはなりえますが、その要素だけで譲渡となるわけではありません。

**Q：一定の財務基準の目標を設定しているが達成できるのか？**

A：ステージⅠの中で各JAの財務状況を一定レベルに合わせることになりますが、各JAそれぞれに素晴らしい特色があり、数字では表せない部分もあります。どの部分を高めていくのか検討しています。

**Q：財務調整はどうするのか？**

A：各JAにそれぞれ特徴があります。いくつかの指標を最終的にどこまで調整するか今後、検討します。



天秤座 9/23～10/23

【全体運】あちこちから声が掛かり、交通整理が大変かも。自分の意見をちゃんと伝えて。あいまいにしておくことに  
 【健康運】準備体操と休憩が大事。無理のない運動を 【幸運の食べ物】ルッコラ





**Q：出資配当や独自の支援対策等はどうなるのか？**

A：手数料に織り込んだり、対策費として支出したりJAで違っております。それらを活かしながら運営するためにはどうすればよいか、今後、現状を踏まえ具体的に検討していきます。

**要望等**

- 総代会で合意があれば合併して良い。
- 13JAが外部のコンサルタントを入れて、5年先、10年先に個々のJAがどうなるか確認して、組合員に判断させてはどうか。
- 合併前に各JAでの自己改革が必要である。
- 支所支店の統廃合によって組合員に迷惑をかけるのではないか。
- 合併した時に行政とのつながりをどうするか検討してほしい。

**県域JAのメリット・デメリットについて**

**Q：県域JAになるメリットは何か？スケールメリットについて具体的に示していただきたい。**

A：これまでJAグループは時代とともに機能を統合してきましたが、現在の状況から県域JAになったときのことを検討している段階であります。スケールメリットについては更に検討して組合員の皆様に説明していきます。

**Q：新たな投資とあるが具体例はあるか？**

A：具体例はありませんが、これまで単協では不可能であった施設等の投資が可能となります。

**Q：組織が大規模化することで組合員との距離が離れるのではないか？**

A：組織が大きくなることのデメリット対策や地域性の維持方策等について優先して協議し取り組みます。

**Q：地域ブランドがなくなるのではないか？**

A：地域ブランドの特性・品質・取扱量等を踏まえ、所得向上や有利販売を前提に組合員の皆様の意向に基づいて一つひとつ検討していきます。

**要望等**

- 県域JAになることで、交渉力を発揮することができる体制にしてほしい。

**役員体制について**

**Q：理事について、青年部枠は何枠ぐらい考えているのか？**

A：青年部枠を設ける方向ではありますが、人数については今後の検討となります。

**Q：理事の定数について、組合員数で割るのはおかしいのではないか？**

A：正組合員割や事業割等を踏まえて検討しているところであります。

**要望等**

- 役員が多いと逆に意見が届きにくくなるので、地区本部運営委員の定数は今の半数でよい。

**県域JAに求めること**

**Q：買取販売ができる体制づくりをして、農家が安心して生産に取り組めるようにお願いしたい。**

A：現在は委託販売が主ですが、少しずつ買取販売にも取り組んでいますので、今後はその割合も上げていきます。

**Q：若い営農指導員が多くなっているため、指導員の質の向上を図られるようにお願いしたい。**

A：県域化となることで県域JAとしての指導員のレベルを上げていきます。

**Q：ノルマによる職員の退職について考えてほしい。農家所得が上がれば推進は必要なくなる。**

A：農家の所得向上があってそれぞれの事業が成り立つということを基本に置いて、JAのあるべき姿を検討していきます。

**要望等**

- 農業所得を上げるために英知を結集して、未来志向の合併をお願いする。
- 農業後継者育成と耕作放棄地の対策を講じ、若い人が農業を目指しやすいJAになってもらいたい。

**その他**

**Q：9～10年先を見越したことなので、青年部や後継者など若い人の意見を聞いてほしい。**

A：将来の宮崎の農業をどうするのか、青年部等の意見を集約しながら取り組んでいきます。

**Q：他県の合併したJAの実態について、調査してほしい。**

A：他県の事例につきましては、メリット・デメリット、今の状況を含めてさらに調査します。







#### 4. 意見要望への今後の取組み

##### ① 検討期間について

組合員代表者との意見交換会を受けて、令和2年としていた各JAの理事会での「設立推進協議会への参加」承認については、令和4年を目途として進めることとしました。

##### ② 組合員への十分な説明について

今後も県域JAについての十分な議論を重ねて参ります。組合員との意見交換については、幅広い周知や意見反映のために随時開催します。また、組合員向けの広報資料を作成して配布します。次回は、令和2年1月までの検討内容について『県域JA構想(草案)』としてまとめ、その概要版を配布します。

##### ③ 農業の振興について

県域JAにおける宮崎県の農業振興の取組みについて、さらに協議を深めて参ります。

##### ④ 合併の具体的なメリットについて

令和2年より、県域JAになることでの「事業ごとでの県域JAならではの取組み、それによる組合員メリットの具体化」について更なる協議を深めます。併せて数値的な影響試算についても整理を進めます。

#### 5. 《参考》当日資料の主な内容 組合員説明資料抜粋

※決定事項では、ありません

#### 《現在の検討内容での施策と組合員メリット(営農面の抜粋)》

	施策等	組合員メリット
生産基盤	県域を1つの産地(JA)と捉えた基盤構築を目指し、県域での営農振興方針の策定や素畜生産から販売のあり方、事業のインテグレーション化の検討。	・規模拡大、作業の効率化 ・産地の維持・発展
営農指導	県域で高いレベルの指導やサービスを提供する体制(組織)づくりを目指し、県域指導体制づくりや営農指導員体制の整備や効率的な配置。	・営農指導のレベル向上と充実 ・県域体制での営農指導の享受 ・生産性の向上
資材調達	経営効率化を踏まえた店舗や拠点の集約、トータルコスト低減のための品目集約などを目指し、出向く・出迎える体制の強化や仕入れや仕組みの見直し。	・サービスの充実、利便性向上 ・生産コスト上昇の抑制
物流	県域での物流効率化、施設の集約・整備による新たな物流体制の構築を目指し、青果物物流拠点の設置や品目別選果場の設置、出荷と連動した物流スタイルの構築。	・物流・選果・保管コストの抑制 ・配送体制の持続
販売	県域を1つの産地(JA)と捉えた販売体制構築を目指し、県域営農振興に基づいた県域ブランド戦略の充実化。	・所得や経営の安定化 ・ブランド力の向上
農業資金調達	①専門・相談機能を拠点化し、専門性の高いサービスの提供を目指すとともに、多様なニーズを踏まえた幅広い農業金融サービスを提供。 ②出向く体制の拡充等、組合員・利用者目線に立ったサービスを提供。	・相談対応のレベル向上 ・担当専門職員による継続的な情報提供

#### 《主なスケジュール》(「県域JAの設立」をJA県大会後5年以内とした場合)

※ スケジュールはあくまで目途であり、議論の進展に応じて、組織整備委員会などの会議体で随時検討します。

平成30年11月(起点)	第24回JA宮崎県大会	「県域JA」構想(成案)の具体的検討着手の決議
令和元年10月	組合員代表者との意見交換	「成案」(中間取りまとめ)の報告
令和2年	組合員との意見交換	「成案」の説明・意見集約
	各JA理事会	「県域JA構想(設立推進協議会)への参加」の承認
令和3年2月	「県域JA設立推進協議会」の設置	全JA・連合会から1名以上の出向 (「成案」に基づく、より具体的な内容を検討・整理)
	組合員との意見交換	合併経営計画・合併契約書などの説明・協議
	各JA理事会・臨時総代会	合併経営計画・合併契約書などの承認
起点より5~6年目	県域JA設立	現JAを地区本部とする体制で運営・連合会の包括承継

※ 4. ①「検討期間について」のとおり見直しをしています。







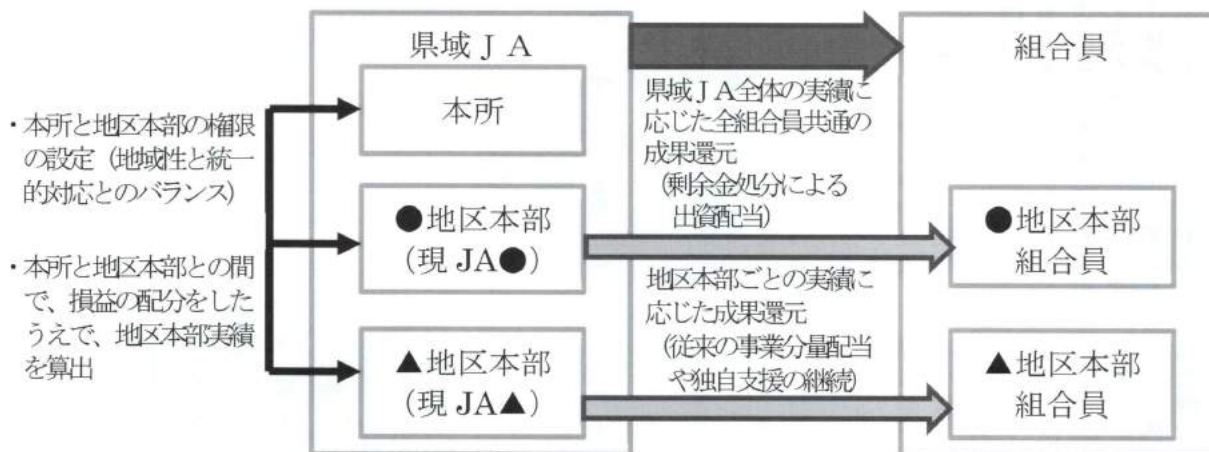
### 《財務面の取組み》

合併前までの期間においては、県域JAの経営・財務基盤の高位平準化のため、これまでの各JAそれぞれによる経営健全の取組みに加えて、合併前に、一定の統一基準に基づく経営・財務基盤強化に取り組む必要があります。そこで、現在、この合併前の取組みについて検討しております。

### 《合併当初の組織体制》

合併当初の組織機構として、現JAを地区本部とする「本所—地区本部」制とすることで検討しております。地区本部は、一定の権限を持ったうえで独立採算的運営を実施し、地区本部ごとの業績に応じて、組合員への成果還元を行います。なお、一定期間経過後は地区本部を廃止し、県内を3~5のエリアに区分し、各エリアに広域統括拠点を設置することを検討しています。

#### 【地区本部の権限と独立採算の考え方】



### 《総代会と地区本部総代協議会》

県域での総代会に加え、地区本部ごとに地区本部総代協議会（仮称）を設置することで、広域化するJAの組合員の意見を反映します。（検討中の内容）

	総代会（県域）	地区本部総代協議会
設置	県域で1つ	地区本部ごと
構成員	総代（県域）※地区本部総代の代表	地区本部総代
人数	500名~1,000名で検討中	現総代の半数~現定数で検討中
機能	県域JAの最高意思決定	地区本部の運営に関する協議

### 《理事会と地区本部運営委員会》

県域での理事会に加え、地区本部ごとに地区本部運営委員会（仮称）を設置することで、広域化するJAの組合員の意見を反映します。（検討中の内容）

	理事会（県域）	地区本部運営委員会
設置	県域で1つ	地区本部ごと
構成員	理事（県域組織代表理事として、青年部・女性部代表枠を設置）・監事	運営委員（当該地区選出理事含む）・監事（当該地区選出）
人数	理事60名~80名・監事15名程度	現JA理事数程度
機能	県域JAの業務執行に関する決定	地区本部の業務執行に関する協議

### 《人事面の取組み》

コース別での人事異動による専門性の向上や、県域一括採用による優秀な人材の安定的な確保により、持続的なサービスの向上を図ります。



# 西白杵の姓氏

## 八四一① 指原氏

豊後指原氏の家紋は複雑な家系を暗示させるような藤輪に蔦の家紋。

二つの名族が合併し、家紋も合併したのである。



大分市の指原（さしはら）氏の由緒を記した「日州高知穂田原城主として一万貫を給也」という古文書があることは郷土史家の先生たちに良く知られている事であった。しかし、その裏付けとなる高千穂側の記録が無い為に注目されなかった。

二〇一九年の九月号から「田辺氏」を農協だよりに掲載した。上野の田井本地区の田辺姓の家を廻り聞き取り調査をした時思いがけない情報を聞いた。

それはサシハラと言う集団が相当古い時代に豊後の国から田井本にやってきて住み着き田辺氏や周辺の諸氏と交流があったということである。

最近になり、この指原氏の子孫が先祖の縁（えにし）をたより

### 豊後指原氏略系図

出典：大分市丹川 指原家の由緒書を参考にした、一部筆者の書き込み

※大友能直が豊後豊前守護及鎮西奉行になったのは建久七年（一一九六）

大職冠鎌足後胤鎮守府將軍武藏守

刑部大夫左衛門尉

左衛門尉播磨守

大友能直に仕え豊後丹川庄に移住久土原山城主

藤原秀郷

略

経俊

實明

鎮實

秀郷より十二世之孫首藤姓

齊藤姓

齊藤姓 民部亮 安貞元年歿（一一二七）

指原姓を名乗る 指原武藏守と改めて日州高知穂田原城主として一万貫を給也

幼名隼人佐

掃部介

日向赤野山峯上り指原山に籠る

盛實

正實

大友修理太夫親世に仕う

利實

實光

信實

信光

信秀

十五世の孫

明徳四年歿（一一三三）

指原右京亮

指原和泉守

指原伯耆守

指原久左衛門

信高

天文一〇年歿（二五四二）

雪實

永祿十年歿（二五六七）

實明

天正一五年（一五八七）戸次川合戦で討死

寛一

以下略

マイクロボスで田井本に来て旧交を温められ、以来交流が続いているとのことである。そのようなことから「西白杵の姓氏・田辺氏」を書くとき、両氏を併記して書いたため指原氏の説明が解釈しづらいとの指摘があったので改めて「西白杵の姓氏・指原氏」として書くことになった。

現在西白杵には一軒もサシハラを名乗る家は無いが、かつて上野周辺に指原名乗る人たちが約二百年間存在し、少なからずとも高千穂郷の歴史に影響を与えたと思える。しかし、あるとき彼らは僅かな痕跡を残し忽然として消えたのである。

さて、指原氏の出自であるが由緒書によれば遠祖は藤原氏秀

郷流で、それより十二世経俊の代に源氏の郎党となり首藤姓を名乗る。その子實明は何らかの都合で齊藤姓となり源頼朝の無双の寵仁（ちようじん）として有名な大友能直（よしなお）に仕えた。その後源平合戦を征し鎌倉幕府を開いた頼朝は大友能直に豊前豊後を与える。能直の命を受け實明の子鎮實は関東からのお下り衆として豊後丹川庄久土原（大分市丹川・あかがわ）へ下向した。

鎮實がこの地を与えられたことで一族の運命も変わる。丹川の台地は水銀を含む辰砂の鉱脈があったことによる。この地に鎮座する丹生神社の社伝に「白鳳時代文武天皇二年（六九八）に朝廷に朱砂を献ずる」とあり、

この地一帯が古くから朱砂（辰砂・しんしゃ）の埋蔵地であったことがわかる。

日本における水銀鉱山は大方、日本の中央構造線上にある。日本の背骨ともいえる中央構造線は新潟県糸魚川から南アルプスを通り天竜川沿いに下り浜松から知多半島に抜け伊勢を通り四国吉野川沿いに四国の中央を横断し佐田岬から豊後水道をくぐり佐賀の関より再び姿を現し、その延長には高千穂郷があり、高千穂も水銀を産出する。

佐賀の関から連なる山系の一つに九六位（くろくい）山があり天台宗の古刹圓通寺があることで有名であるがクイの名も暗に水銀のありか

を示している。この山系の東西斜面に辰砂が産出し西側が丹川集落である。

丹川一帯は日本古来の種族海部（あまべ）氏の拠点の一つ、隣接する坂ノ市周辺に渡来系の秦氏一族がいて二つの民族がこの地で混じり合うエポック（新しい時代・新段階）地帯でもあった。

大河大野川に平行して流れる丹川流域は肥沃で地勢も良く穀倉地帯であったが、それ以上に黄金に匹敵する水銀原料となる辰砂は、指原一族、そして豊後守護大友氏に富を与えたであろう。

以下次号

文責 安在一夫



# クロスワードパズル

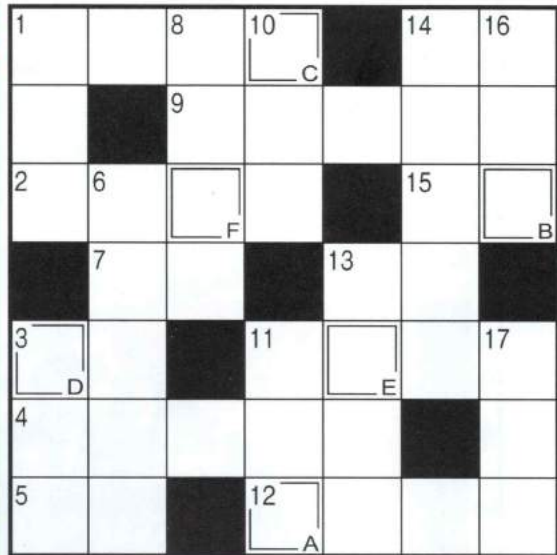
パズル?頭の体操  
出題●ニコリ

Q. 二重マスの文字をA~Fの順に並べて  
できる言葉はなんですか?

15	14	13	12	11	9	7	5	4	3	2	1
父や母の姉妹です ——して得取れ	一つ	白米を量るときに使う単位の	骨と骨をつなぎます	白井義男は日本人初のボクシング世界——です	京の着倒れ、大阪の——	走ると切れることも	目	卵焼きとも呼ばれます	兵庫県の郷土料理。地元では	守備の反対語	ひな人形に供える角張った食べ物
17	16	14	13	11	10	8	6	3	1		
旧暦3月の異称です	版画を刷るときに使います	——をした	雑巾を用意して年度末の	真ちゅうやステンレス、はんだなどのこと	地震、雷、火事、——	成長すると鶏になります	太陽が東から昇る時分	車の方向指示器のこと	事故などを現場に居合わせ	直接見ること	工業——。社会。

**ヨコのカギ**

**タテのカギ**



= 前号の答え =

ソ	ト	コ	ウ	バ	イ
ラ	ン	マ	ル	ー	ト
カ	チ	ヨ	ウ	ヘ	ン
テ	ツ	ト	モ	ン	ク
ン	コ	ウ	ク	マ	ギ
ノ	レ	ン	マ	ギ	ワ
ウ	ツ	ブ	セ	ヨ	イ

チョコレート  
でした。

## 応募方法

正解者の中から、抽選で5名様に「高千穂牛レストラン和」及び「JA高千穂地区ミートセンター」の商品券を贈呈致します。次の要領でご応募ください。  
今月号の感想や提案など、ご意見をお聞かせください。  
※締切り：3月10日の消印まで有効

《答》——  
住所・氏名  
年齢・職業  
電話番号  
今月号の感想、JAへのご意見、地域の話題 等

〒882-1101  
高千穂町  
大字三田井一丁目  
JA高千穂地区  
総合企画課行

★抽選の結果、次の方に商品券をお贈りしました。

高千穂町押方	甲斐	隆子	様
高千穂町押方	飯干	チサト	様
日之影町七折	甲斐	はつ子	様
日之影町七折	戸高	利徳	様
五ヶ瀬町三ヶ所	原野	美保子	様

# 読者の部屋

**便** 利の良い世の中になりましたが便利な物を使いこなす事に苦労している自分がいまいます。年を取ると過去が懐かしい！でも、今は令和。日々、前向きに色々な事に挑戦して頑張りたいと思えます。

**日** 之影の当選者少なっ！日之影頑張れ！でも表紙は素敵な日之影の夫婦だったので良かったです。80歳過ぎても元気で仕事ができることが素晴らしいと思います。

**か** るめで2月号の表紙の西さん御夫妻を20年ぶりに拝見しました。お元気でさんかん栽培に頑張られている姿にこちらまで元気をもらいました。

**高** 千穂地区産のきんかんが美味しそうでした。食べる機会があった

**2** 月は私の誕生日がきます。菜の花が咲き、梅の花が咲き、寒いけど良い季節に生まれましたと思います。姉妹でレストランに行こうかなあと考えています。

**高** 千穂町Kさん70歳

先月号のパズル応募はがきから掲載しました。

高千穂町Yさん10歳

日之影の当選者少なっ！日之影頑張れ！でも表紙は素敵な日之影の夫婦だったので良かったです。80歳過ぎても元気で仕事ができることが素晴らしいと思います。

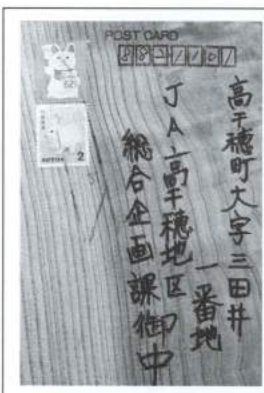
日之影町Kさん68歳

暖かい冬でしたね。立春が過ぎましたがこのまま春になるのでしようか。

五ヶ瀬町Hさん78歳

## 編集後記

先日、高千穂町の方から届いたハガキが木製でした。皆さんは見たことがありますか？私は初めてでしたので驚きました。(裕)





## LA（ライフアドバイザー） 決意を新たに進発式

共済普及専任指導員（LA）の進発式が、2月3日にJA高千穂地区本所大会議室で開かれました。今年は新たに戸高秀和LA、興梶真一LA、工藤亮太LA、一水隆樹LAを含む15名体制でスタートです。

ライフアドバイザーは『ひと・いえ・くるま』の総合保障の提供を通じ、豊かな生活作りのサポートをさせていただきます。訪問した際にはお気軽にご相談ください。きっと皆様の『安心』を提供できると思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



### 組合長へきんかん贈呈

高千穂地区産きんかんの出荷ピークを迎えるにあたり、きんかん部会は1月27日に、佐藤友則組合長へみやさぎブランド完熟きんかん「たまたまエクセレント」を贈呈しました。

同部会の工藤慎一郎会長は「今年も着色、食味共に良く、素晴らしいものができました。生産者一同頑張つて参りますので、よろしくお願ひします」と話しました。



### 組合長へ花束贈呈

高千穂町花き園芸組合は、冬期花きの出荷にあたり、2月13日に佐藤友則組合長へ花束を贈呈しました。

桐木善大会長は「今年は暖冬で苦労して作りました。今後ともトップセールスをお願いします」とあいさつ。佐藤組合長は「日本農業賞の受賞もあり、今後更なる活躍を期待しています。また、多方面での支援に取り組んでいきます」と答えました。

